

平成24年8月19日〜23日に韓国の濟州島で開催された国際会議 (IAHR-APD2012) に参加してきました。

日本を早朝に出発し、釜山を經由して濟州島に着いたのは午後4時頃でした。ホテルは市街地にあり、周囲には濟州島名産の黒豚焼肉店が軒を連ねていました。また、いたるところにABCマート等、日本の企業が多々進出している様子が伺われました (写真1)。日本の企業が海外で活躍していることを知り、とても誇らしく感じたと共に、私も将来は海外で活躍する企業に就職したいと考えているため、気持ちが高揚しま



## タクシーで巡る、濟州島奮闘記

工学府建設社会工学専攻M2 藏本 更織

した。

濟州島観光をするにあたって、日本人にとってうれしい点は、ブランド物や食品、公共交通機関などが、日本に比べてリーズナブルな価格で利用できるという点です。特に韓国のタクシー料金は、30分で400円程という破格の安さなので、貧乏学生である私にとってはとてもありがたい交通手段でした。濟州島滞在3日目、国際会議の会場に出かけるため、道端でタクシーを拾いました。運転手に日本語で行き先を伝えると、日本語が多少わかるようで、「オッケー！」と明るく答え、目的地に向かって車を発進させました。30分後、目的地に到着し値段を確認しようとメーターに目をやると、1万wonの文字。日本円にしておよそ800円でしたが、明らかに値段がおかしいのです。昨日、同じ目的地までタクシーで移動した時の倍の値段になってい

たのです。私が「ボッタクリだ！」と気付いた瞬間、運転手は急に私の腕を掴んで手の中に名刺をねじ込み「帰っても私のタクシーに乗りなさい。」と強い口調で迫ってきたのです。私は身の危険を感じ、お金を投げ捨て、すぐさまタクシーから逃げ出しました。後で冷静に考えてわかったのですが、どうやら先ほどの運転手は、目的地まで遠回りをして距離を稼いでいたようでした。ホテルの従業員に今回の事件の一部始終を伝えると、この辺りでは観光客を狙って頻繁に起こっている事件のようでした。ホテルの従業員から、「この辺りでは、ボッタクリに遭いたくないならホテルにタクシーを呼んでもらうといい」とアドバイスをいただきました。怖い思いをしました。海外旅行においては疑心暗鬼にならない程度に注意を怠らず、周りを信用しすぎないことも重要だという教訓を得ることができました。

肝心の発表についてですが、少し緊張しましたが、ミス無しで終えることができました。しかしながら、質疑応答については、発表のようによくはいきませんでした。質問者



写真-1 濟州島の街並み

の英語が想像以上に早口で、ほとんど聞き取ることができず、うまく回答することができませんでした。私はとても悔しくなり、もつと英語を勉強しようと思心に誓いました。

国際学会に参加して、海外の街並みを拝見したり、口頭発表に臨んだりすることによって、将来海外で活躍したいという意欲が高まると共に、多くの教訓を得ることができました。この場を借り、論文執筆および発表にご指導いただいた鬼束幸樹准教授並びに奨学金を援助していただいた明専会に厚くお礼申し上げます。

(平成24年10月記)